

意見のよさを追求しながら、自分たちで学級を よりよくしようとする児童の育成

—学習過程ごとの目的を明確にした指導の工夫を通して—

特別研修員 特別活動 遠藤 志穂 (小学校教諭)

児童の実態

意見を出す児童に限られており、一部の児童を中心に話し合いが進むことが多い。

教師の願い

全員の児童が自分の意見を出し、意見のよさを追求しながら、話し合ってほしい。

学習
過程

題材名「自分の仕事の仕方を見直そう」 学級活動(3) 第4学年

アンケートに取り組む

私は、きちんとやっているよ。(自分を振り返る)

手立て1

自分たちの課題に気付くための、アンケート結果や、活動の動画・写真の提示

たてわりそうじの6年生



6年生は先生の机の下まで、そうじをしているのだな。とても丁寧だね。

私は、こんな細かいところまでそうじをしていないな。
(自分たちの課題に気付く)

手立て2 意見のよさを比べ合いながら、話し合うための段階的な人数の設定

少人数(2~4人)
自分の意見をもつための人数



まだ意見がはっきりしないけど、2人に思い付いたことを聞いてもらおう。

がんばって、そうじをするのもよさそうだね。
(自分の意見を思い付く)

グループ(4~6人)
理由や根拠を比べて、より具体的な意見にするための人数



がんばるというのは、6年生みたいに、先生の机の下を拭いて、すみずみまできれいにすることかな?
(意見のよさを比べる)

「すみずみまでそうじをする」という意見の方が具体的だね。
(よりよい意見になる)

全体
自分や学級で実践可能な意見に決めるための人数



私たちのグループは、「すみずみまでそうじをする」という意見が出ました。(意見の発表)

黒板や先生の机の下など、すみずみまで拭くことを自分の目標にしてみよう。
(実践可能な意見になる)

決めたことに取り組み、活動を振り返る



黒板の下まで丁寧に拭こう。(実践する)

今までよりも、丁寧なそうじができて、学級のみんなも気持ちよく過ごせてもらえそう。
(実感をもつ)

成果

学習過程ごとの目的を明確にした指導の工夫により、全員が自分の考えを出し、それぞれの意見のよさを比べ合い、実践可能な意見に決めることができた。

課題

実践可能な意見に決めるための話し合いの過程を定着するために、繰り返し合意形成や意思決定の過程を踏まえた話し合い活動を行う必要がある。

事前

つか
む

さ
し
合
う

見
比
べ
合
う

決
ま
と
め
る

事後